



Handwritten text on a small piece of paper pasted to the cover, likely a title or author's name in cursive script.

Library label with the following text:
13
3020
2



ぢりぢりおんぢりぢり 秋まやア悔しくッてあうあいのヨ
 まご自己と嬉しくせうあを尻をひねるは
 てもあまをまともあおがまそとまゐるあうぢりぢり
 ぬけまごまきり 涙川を名をひね如私筆をる
 やうまきうるま 涙をひねるあうッても世界を度の子
 糸をまきッてこれと糸をひねる同ふりの涙とあ
 やぐひへアサをまき糸は張いとまご私グさちもあ
 まりへお果せる子へアあまりへアまりへアまりへ

私のかみとけいけいおんれナヨアおまのよへへあふが
 おまのよへへアおんれナヨアおまのよへへあふが
 ぢりぢりおんぢりぢり 秋まやア悔しくッてあうあいのヨ
 まご自己と嬉しくせうあを尻をひねるは
 てもあまをまともあおがまそとまゐるあうぢりぢり
 ぬけまごまきり 涙川を名をひね如私筆をる
 やうまきうるま 涙をひねるあうッても世界を度の子
 糸をまきッてこれと糸をひねる同ふりの涙とあ
 やぐひへアサをまき糸は張いとまご私グさちもあ
 まりへお果せる子へアあまりへアまりへアまりへ

春のえんぞつ飛る

第四回

扱由のあつた二人を 彼玉次郎と申すも 終
あつたも 親の内を先きしふ 終
は新小舟と申す世方のうらみ 終
ぞやありは 終
か今やゆき 物事 終
て飛るうらみ 終

涙をとりと 終
あそび又あどけ 終
もまゝ 終
さうしるも 終
せうしるも 終
あつたも 終
あつたも 終
あつたも 終
あつたも 終

ぞいまたくろの川そのみよ家底をも備へ替
 ぢいもかゆめナおれまれば私づらも替ん
 心の揺ません少い心も玉まんのうふ女揺ふは
 まるふト云も揺実まき玉揺身の心のうちも因ト
 美実強とそそか今心玉次郎の身小者三づく
 と勝一さも又分の意どろ小冷方も胸塞がるも
 そろりありまへ私もまうゆけん揺るが子免が家
 店をも品を備りね揺人多珠小とまるノサト二人ハ

密く身のうへと揺る成ゆ方小表力身遊一歩
 て扱を我友者のゆゆ身ありんあてまのる
 け及の揺未我と足身同揺ゆせゆゆ身揺ゆ
 不者とのひあぐゆゆもあゆのゆり見とても
 世方ふまあるゆ今コガ二人の揺我揺救ハせんバ
 まさ揺る揺我とまらハのものもあんま空まう今
 ちたりのうち揺多とうるんとう身歌々ゆ
 居方うちのまどと揺知るだ又云物を云屋

ちろくと腕うでしと男おとこの侍さむらいあそいへるさん
そのやア阪あべまり羽うぶ歌うたをどざいのまを私わたくしどつて書あ
宛あてのおねとお月おつきとちまーとあをどざいのまをヨ
史これともお糸いと柳やなぎのお乳ちち小降こふりツさう 何なに年とし場ば場ばと
下くだまのまー是これうさーもそねあふひちません
うろト之これは方かたも元もとよりしとねね立たしと
ゆいでもあけまばなればあへばりぢうしとゆい
不ふ便べんの跡あと場ばか今いまの脊せきとさきりあうあへこね

今いまのふろ残のこねだナのう 泣なびと冥やみのナとさうしと
は極ごく多た可か愛あいのめとありまを 知しんであらぬ
のう泣なびといろろヨ横よこ娘むすめあとしと号ごうをえへ
史これあう今いまのふろ残のこねだのう上うへ流ながれつとふ
夫おとこへ左ひだり端はたふとふとあも物ものとせもおあふ自おのれ色いろハ所ところ
番ばんらふらど可か愛あいくつたあうあひ 少せう流ながれはねと迷まよつ
さううとあ流ながれあの今いまのあ流ながれが今いまのあ流ながれはねと
荒あらい尔に笑わらひとえへ まさねねおはるるやまを本ほんり

言へばへたははまう独るも成入るべく自己とまぜッ
けへまぜ 見えんおののき命と終るまぜッ
まぜう 只今自己のふ成成はづの物と只入を
自己とまぜッ みるくあいて 見えんぞうくく
ぞうく私ガ部りんばあきんハ成入先をまぜッ
私成おのりりぞうく 激小勝くしヨとまぜッ
勝くしゆのあんのとあき 垂く先を成成ると
おあも勝りどまげゆの 見えん物とせむおんナ私ハ

おきんおのあめうわりのの 激小勝
ド 只入をのりりぞうく 激小勝
同志好と心のつまむ 激小勝
幸若成忘るあき

梅の旭

卷之中終

